

第 1 回町田市長期計画審議会議事録

1 **開催日時** 2019年 8 月 19 日（月） 午後 5 時 20 分～午後 7 時 5 分

2 **開催場所** 町田市庁舎 4 階 政策会議室

3 **出席者**

<委員>

（学識）大久保英敏会長、三輪律江職務代理、芳賀博委員、小林保子委員

（市民団体）深澤勝委員、安達廣美委員、小野敏明委員、櫻本千恵子委員、

上坂孝博委員、大野太郎委員、伊藤秀俊氏（野澤委員の代理出席）

欠席：（市民団体）野澤哲也委員、清原理委員

<事務局>

石阪市長、小池政策経営部長、浦田企画政策課長、水越経営改革室長、押切経営改革室課長、樋口企画政策課未来づくり担当課長、本郷企画政策課担当課長、

（企画政策課）山田、山岸、新井、（経営改革室）栗山、近藤、堀

4 **傍聴者**

3 名

5 **次第**

（1）開会

（2）諮問

（3）審議会の進め方について

（4）策定方針について

（5）現行計画の振り返りについて

（6）町田市の将来人口推計について

（7）町田市を取り巻く社会経済状況の変化への対応について

（8）町田市の行政経営改革について

（9）その他

6 **議事内容**

（1）開会

（2）諮問

（石阪市長から大久保会長へ諮問書の交付）

○大久保会長

ただいま、石阪市長から諮問を受けました。それではこれから先、委員の皆さんと一緒に、仮称ではありますが「まちだ未来づくりビジョン2040」の策定に向けて、長期計画審議会としてしっかりと審議をして参りたいと思います。石阪市長ありがとうございました。（公務の都合により、石阪市長退出）

○大久保会長

それでは早速、審議会を進めていきたいと思います。本日は、事務局からの説明が中心になるかと思いますが、ただ今後の審議に向けて、委員の皆さんからのご意見も伺っていききたいと思いますので、ぜひ活発な意見ををお願いします。

(3) 審議会の進め方について

○大久保会長

それではあらためまして、次第の「3. 審議会の進め方について」事務局から説明をお願いいたします。

(「資料4：全体スケジュール」「資料5：審議会での検討内容について」に基づき、事務局(本郷担当課長)が説明)

○大久保会長

どうもありがとうございました。このことについて、委員の皆さんから意見等がありますか。(意見等なし)

今日は、説明資料が盛りだくさんなので、意見がなければ先に進めさせていただきます。それでは次第の「4. 策定方針について」事務局から説明をお願いします。

(4) 策定方針について

(「資料6：新たな基本構想・基本計画・実行計画 策定方針(概要)」に基づき、事務局(本郷担当課長)が説明)

○大久保会長

どうもありがとうございました。このことにつきまして、委員の皆さんから何か意見等がありますか。私の方から意見を1つ、「まちづくり未来ビジョン2040」の冒頭に付けられている「仮称」という言葉は、いつ頃取れるのですか。

○事務局(本郷担当課長)

最終的に市議会に議決をいただいた時に取れることとなります。

○大久保会長

まだまだ説明資料がございますので、先に進めていきます。それでは次第の「5. 現行計画の振り返りについて」事務局から説明をお願いします。

(5) 現行計画の振り返りについて

〔資料7-1：「まちだ未来づくりプラン」まちづくり基本目標の達成状況〕～〔資料7-4：「まちづくり未来プラン」行政経営基本方針の《主な取組内容》〕、現行の「町田市基本計画まちだ未来づくりプラン」P26・27に基づき、事務局（本郷担当課長）が説明

○大久保会長

どうもありがとうございます。このことについて、委員の皆さんから意見等はありませんか。（意見等なし）

今回は、資料が多いので、事務局からの説明の内容を理解するので目一杯だと思いますが、委員の皆さんには是非、資料を持ち帰っていただき、次回の会議に向けて考えていただきたいと思います。それでは続きまして、次第の「6. 町田市の将来人口推計について」事務局から説明をお願いします。

(6) 町田市の将来人口推計について

〔資料8：町田市将来人口推計概要〕に基づき、事務局（本郷担当課長）が説明

○大久保会長

どうもありがとうございました。今後、町田市の人口は、日本全体の傾向と同じように確実に減っていくと予測されています。このような人口減少に対応する施策が、今回の計画に関しては非常に重要になってきますので、委員の皆さんにはその辺の議論もしていただきたいと思います。

ただいまの説明に対する感想について、2040年頃までに町田市の人口が40万人を下回るのは、少し寂しい気がします。今後、他の人口40万人規模の都市と比べて議論をしていく必要もあるのかなと思います。

今後、委員の皆さんにご意見をいただくことになろうかと思いますが、人口減少に対応する施策の方向性には2つあると考えています。1つは、このまま縮小していく人口にあわせて、まちづくりを進めていく方向性があります。もう1つは、何とか転入を促進させるために、何らかの施策を打って人口減少に歯止めをかける、町田市として日本全体の傾向とは異なることをまちづくりとして進めていくという方向性があります。

どちらの方向性で施策を進めていくのか、委員の皆さんには、このことについても、今後、活発な議論をお願いすることになりますが、今回、色々と資料を見ていただいた段階で、何かご意見があれば、ざっくばらんに伺いたいと思います。

○三輪職務代理

途中で退席するので、口火を切らせていただきます。委員の皆さんは、ただいま会長からお話があった方向性のうち、今回のビジョンの中では恐らく後者の方向性、要するに人口減少に歯止めをかけるための施策を打ち出すことが必要だとイメージされていると思いますが、私もそのように思っています。

一方で、あくまで現状として、将来の人口はこのようになるだろうということを、どこの自治体においても警鐘的に発表することが多いのですが、例えば転入者へのアンケート調査や市民意識のような定説的な話や意向、あるいは私の分野で言うと定住志向やそこでの暮らしへの思慮等との兼ね合との中で、これまでの人口動態とこれらとの関係みたいなものがもう少し見ることができると良いと思います。

現状分析としてこのようなところも見つつ、従来からの処方箋だけではなく、新しい試みみたいなことを今までもずっとされてきていると思いますが、次回までのところで定量的なものや意識的な調査結果等との兼ね合いを、町田市全体や例えば中学校区のような部分的におさえていくような振り返りも是非、事務局の方でしていただきながら、皆さんと共有しつつ検討を進めていきたい。現状分析は、恐らく全体のビジョンに関わるものとパーツに関わるものがあると想像されるので、今後、その辺も是非読み込んでいきたいと思っています。

○大久保会長

どうもありがとうございます。他にご意見はありますか。今後の施策のあり方を考えていく上で、情報というのは非常に重要であり、今後さらに情報を増やしていくことになるかと思っています。

例えば地価、要するに住居。マンションが増えている所は、人口が増えることになるのですが、一戸建てにしても、今は広い土地を分割して売っているような所が出てきている。つまり住みやすさに地価のようなもの、あるいは一戸建ての区画のようなもの、そういったデータを取っていただくのも面白いかなと思います。今後この辺りは、資料を読んでいただいて議論していただくことになろうと思います。

今、色々な国のプロジェクトが現在進行形で進んでおり、国プロの確立を目指して競争している状況にあるのですが、これらの1つの節目が2030年、もう1つの節目が2050年となっています。現在、2030年の完結に向けて、大きなナショナルチームのプロジェクトが現在進行形で進行している中、これから大きな政策議論どんどん出てくる。それらも情報として取り入れてここに加えていく必要があると思います。

現在、見方によっては、日本全体が大きな変化の時期ではありますが、面白い時期でもあると思っています。このような状況の中で、やはり情報は非常に重要であり、情報を得つつ、委員の皆さんに情報分析をしていただきたいと思いますので、是非よろしくお願いします。

それでは次に、次第の「7. 町田市を取り巻く社会経済状況の変化への対応について」事務局から説明をお願いします。

(7) 町田市を取り巻く社会経済状況の変化への対応について

(「資料9-2:2040年頃までに想定される各行政分野における全国的な課題等について」～「資料9-5:町田市を取り巻く社会経済状況の変化への対応について」に基づき、事務局(本郷担当課長)が説明)

○大久保会長

どうもありがとうございます。ここは、これからの議論の基本になるところだと思います。今、出していただいた資料の中で、町田市の強みや弱み、社会経済状況の変化、今後考えられる課題等が示されています。非常に短時間の中で未だ消化不良のところがあり、今後、議論を進めていかなければなりません。今日の説明について、ここにあるものでもないものでも構いませんので、皆さんがこれから対応すべきと考えられた課題がありましたら伺いたいと思います。

今後の人口構成について高齢化が進む一方、AI化といったことも進んでいくと考えられる中、恐らく長所・短所があって、その辺を上手くまとめることができれば労働力の不足等も補うことができると考えられますが、高齢化の話について何かご意見はないでしょうか。

○芳賀委員

町田市の今後の人口について、全国と比べて特に何か特徴的なことはなさそうで、高齢化という意味では、町田市は全国的な傾向がそのまますっぽり当てはまるということ、これまで出していただいたデータから良く理解することができました。

そういう中で、今日の整理は既存のデータと言いましょか、主に数値データを使って評価をしようということが中心であったと思います。一方ではやはり市民の主観的な指標、先ほどの「資料6:新たな基本構想・基本計画・実行計画 策定方針(概要)」の説明では、検討体制の中にそれぞれの世代層へのインタビューやワークショップの実施も予定されているとありましたが、客観的な指標と主観的な指標の兼ね合わせと言いますか、これからのまちづくりにおいては、市民の主体的な関わりをどのように反映させるかということも大きな課題になると思います。その辺りもあわせて計画策定につないでいただくと良いのではと思って説明を聞いておりました。

○大久保会長

ワークショップや意見交換会は、我々委員も参加できるのでしょうか。

○事務局(本郷担当課長)

もしよろしければご参加ください。意見交換会は、市内10地区において開催することにしてあります。既に日程は確定していますので、もしお近くの地区で意見交換会がございましたら、皆様にメールで開催状況をご案内することもできます。

もしよろしければ見に来ていただくだけでも構いませんし、もちろん意見交換に入っただけでも構いません。さらに、無作為抽出型ワークショップについても、既に日程が決まっていますので、こちらにもご参加いただくことができますので、是非お越しいただければと思います。また、高校生とのワークショップは、明日の午前中が初日で開催することになっています。

○大久保会長

この審議会では、情報収集だけではなく、情報収集して課題を提案していくことになろうかと思いますが、課題の中には短期的に取り組むべきものと長期的に取り組むべきものがあります。例えば、先ほど事務局からの説明の中で、モノレールという話が出てきましたが、恐らく今後10年間で完成はしないと思いますが、バス路線については充実させていただきたい。

例えば、人口の流出として考えると、市内には横浜市で仕事をしている方がたくさんいます。その時に横浜線というのがありますが、この沿線に移住できれば市内から乗り換えなしで通勤できることになります。今の問題は、町田市に住んでいる人が横浜線の駅に行くまでに30分以上かかる、これは恐らく短期的な課題になると考えられます。

今後、短期的な課題と長期的な課題を時系列で捉えた中で、今後10年間で取り組むべき課題を明らかにしていく必要があり、そのためにはまずは情報収集を早目に行い、委員の皆さんに示していただいて、その情報を基にどのような提案をするのかという段取りになるかと思います。

今、職場の話をしたのですが、恐らくこのような職場の話は若い人ほど深刻な課題であり、これから町田市に住んで仕事をしていく上で、子育てを含めた衣食住がかなり重要な事柄になるかと思います。

○小林委員

町田市は、20～30歳代までの転出が多いというところを考えた時に、将来これらの方々が町田市へ戻って来て家庭を持ち、子育てをするような街にならない限り、人口は増えにくいのかなと感じています。市内には大学等もあり、転入で10歳代の子どもたちが増えていることを踏まえると、根本的な問題はそこにあるのかなと思います。

現在、町田市が行っているような子育てに関する取組を、市外に住んでいる人たちにもアピールしていく、市外に住んでいる人たちに分かってもらえるよう、分かりやすさといったこともあわせて考えていかななくてはならない。町田市がやっていることを、市内だけではなく、市外に向けてどのように見せていくのかも重要なことだと思います。

○大久保会長

市役所には予算というものがあり、市役所ばかりに頼ってはいられない。そういった意味では、町田市には大学が多いという特性を活かし、大学生に積極的に参加していただいて、市外の人たちに向けた町田市の資料を作ってもらい、そういう情報戦略もできるのではないのでしょうか。

もし、その辺について若者の協力が得られるのであれば、町田市はこういうまちということを知ってもらうために、もっと読みやすいデータベースのようなものを作ることができるのではないのでしょうか。そういったことを検討しても良いのではないのでしょうか。

恐らく今日このまま議論していても、問題が広がっていただけかと思しますので、今後、今日の資料を少し読みこなしていただいて、是非、次回以降に活発なご議論をいただきたいと思います。

それでは、次が最後の資料になりますが、次第の「8. 町田市の行政経営改革について」事務局から説明をお願いします。

(8) 町田市の行政経営改革について

(「資料10：2019年度第1回町田市行政経営監理委員会の概要」に基づき、事務局(栗山係長)が説明)

○大久保会長

どうもありがとうございました。最後の説明について、何かご意見等がありますか。(意見等なし)

(9) その他

○大久保会長

今日は資料も膨大で、説明も少し長めだったと思いますが、今後は議論が中心になってくると思います。委員の皆さんには、是非、本日の資料を消化していただいて、今後の議論をお願いしたいと思います。

これで予定していた内容は、全て終わりました。本日は、初回ではありましたが、活発なご議論をいただき、ありがとうございました。それでは、全体を通して委員の皆さんから何か意見等がありますか。(意見等なし)

ありがとうございました。それでは最後に事務局から、事務連絡をお願いします。

○事務局(本郷担当課長)

それでは、事務局から事務連絡をさせていただきます。2019年度に審議会は、あと3回の開催を想定しています。その日程は既にご案内させていただいているところですが、あらためて説明させていただきます。

次の第2回は、10月11日の午後1時から会議室2-2で開催します。第3回は12月16日の午後5時から会議室2-1で、第4回は来年2月3日の午後3時から会議室2-1で開催いたします。日程について、委員の皆様のご希望に沿えなかった部分があり、大変申し訳ありませんが、よろしく願いいたします。

事務局からは、以上となります。

○大久保会長

どうもありがとうございます。議論を活発に行って、最後はまとめたいと思いますが、なかなかこの審議会だけではまとまらないと思いますので、是非先ほどご紹介のあった懇親会等々も検討したいと思っていますので、よろしくお願いします。

それでは、第1回町田市長期計画審議会は、これにて閉会させていただきます。各委員の皆様方におかれましては、2021年の答申まで長いスケジュールでの審議をお願いすることになりますが、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

—以 上—